

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		農業総務事務		グループ・担当名	農政グループ農政担当	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	02 農業の振興			項	01 農業費
	施策(中)	02 担い手の育成確保と生産性の向上			目	03 農業総務費
	施策(小)	05 農業経営に関する支援体制の充実			大事業	01 農業総務事務
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	-
事業概要	農業振興に係る事務事業を円滑に推進するとともに、TPP大筋合意をはじめ農政の転換期による制度改正に対応するために必要な経費を計上する。 また、農業経営の安定と農作物の生産性の向上を図るために、各協議会に負担金の助成を行う。					
事業目的	各協議会に負担金の助成を行い、安定的な運営を図り農業経営の安定と農作物の生産性の向上を図る					
事業の対象	三町農業推進協議会、オホーツク地域振興機構					
実施結果	【実施結果】 負担金の助成					
現状と課題	【現状と課題】 三町（美幌町、津別町、大空町）の農業関係機関等と普及センターの有機的な連携を図り、地域農業の振興と推進を図っている。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	3,136	3,230	3,301	3,259	3,336	3,336
国支出金	0	0	-	-	0	-
道支出金	0	0	-	-	0	-
地方債	0	0	-	-	0	-
その他	193	188	-	-	144	-
一般財源	2,943	3,042	3,301	3,259	3,192	3,336
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	3,136	3,230	3,301	3,259	3,336	3,336

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	適切な協議会の運営及び総会等の開催回数	目標	回			2	2	2
		実績	回	2	2	2		
		達成率	%		100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					

項目	評価の視点	評価	理由
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	基幹産業である農業を推進するために、関係機関の連携は必要であり、妥当である。
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	農作物の生産性向上を図るうえで有効である。
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	検討	関係機関が連携を図ることで、適正な経費をとっている。

次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 事業内容に変化がないため		評価結果
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 事業内容に変化がないため。		
		予算反映額 (概算)	0千円	現状維持
今後の改善点				

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		美幌峠牧場管理運営事業		グループ・担当名	農政グループ農政担当	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	02 農業の振興			項	01 農業費
	施策(中)	05 畜産の振興			目	05 畜産業費
	施策(小)	03 公共牧場利用の促進			大事業	03 牧野管理運営事業
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	国営草地開発事業により造成した美幌峠牧場の適切な管理を行い、公共牧場として預託牛を受け入れることで本町の畜産振興を図る。					
事業目的	預託牛を預かることで本町の畜産振興を図る。					
事業の対象	畜産農家					
実施結果	【実施結果】 民間企業と預託牛管理業務委託を締結し、公共牧場を運営する。					
現状と課題	【現状と課題】 有限会社ワタミファームに業務委託して、畜産振興を図っている。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	8,237	8,102	12,895	6,595	15,321	6,821
国支出金	0	-	0	0	0	0
道支出金	0	-	0	0	0	0
地方債	0	-	0	0	0	0
その他	3,857	-	5,448	587	3,255	3,255
一般財源	4,380	8,102	7,447	6,008	12,066	3,566
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	8,237	8,102	12,895	6,595	15,321	6,821

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	飼養頭数	目標	頭		21,000	21,000	21,000	21,000
		実績	頭		29,036	33,495		
		達成率	%		138.27	159.5		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	地域の畜産振興を図るため、現時点で公営牧場運営は必要と考えている。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	冬期預託も可能となり、畜産振興に有効である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	検討	牧場の運営を民間委託することにより、経費削減に努めている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 預託牛を預かることで、畜産振興を図る。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 事業内容に変化がないため。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調査書

1. 事業内容

事務事業名		栄森牧場管理運営事業		グループ・担当名	農政グループ農政担当	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	02 農業の振興			項	01 農業費
	施策(中)	05 畜産の振興			目	05 畜産業費
	施策(小)	03 公共牧場利用の促進			大事業	03 牧野管理運営事業
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	<p>栄森牧場は、平成26年5月に発生した土砂崩れによって牧場につながる林道が通行不能となり、平成27年5月に廃止の意志決定を行ったところである。</p> <p>詳細については、北海道との協議を継続しており、植林を行うことで現状回復を図り、跡地の返還を行おうとしている。</p> <p>暫定的に平成29年度も引き続き土地の賃貸借契約を継続することとし、その関連費用を計上するものである。</p> <p>栄森牧場の廃止に伴い、返還、原状回復に向けた協議を地権者と取り進める。</p>					
事業目的						
事業の対象	北海道					
実施結果	【実施結果】 賃貸借契約					
現状と課題	【現状と課題】 契約書に謳われている返還、原状回復の手法について協議中					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	353	311	312	311	312	0
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	353	311	312	311	312	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	353	311	312	311	312	0

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	賃貸借契約	目標	件			1	1	0
		実績	件	1	1	1		
		達成率	%		100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	契約書に謳われている返還、原状回復の手法について協議中					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	契約書に謳われている返還、原状回復の手法について協議中					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	検討	契約書に謳われている返還、原状回復の手法について協議中					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 縮小 ○ 休止・廃止 協議中のため。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 縮小 ○ 皆減 協議中のため。			予算反映額 (概算)	0千円		縮小
今後の改善点	北海道との協議を進め、植林計画を実行し跡地の返還を行う。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		経営体質強化対策事業		グループ・担当名	農政グループ農政担当	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	02 農業の振興			項	01 農業費
	施策(中)	02 担い手の育成確保と生産性の向上			目	04 農業振興費
	施策(小)	05 農業経営に関する支援体制の充実			大事業	03 経営体質強化対策事業
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	農業経営改善計画達成を図るための資金（スーパーL資金：最長25年間）借入、また経営継承時における負債の長期一括借換に係る利子を助成することにより農業経営の安定、新たな経営づくり支援を図る。 ※平成24年度にスーパーL資金制度が改正となり、国の補助で当初5年間実質無利子となっている。					
事業目的	自己負担の軽減を図り、経営安定に寄与する					
事業の対象	農業経営者、農業生産法人					
実施結果	【実施結果】 利子の助成					
現状と課題	【現状と課題】 平成24年度からスーパーL資金制度が改正となり、国の補助で当初5年間実質無利子となっている。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	3,330	2,578	2,080	1,997	1,643	1,322
国支出金	0	-	0	0	0	0
道支出金	1,671	-	1,039	998	821	660
地方債	0	-	0	0	0	0
その他	0	-	0	0	0	0
一般財源	1,659	2,578	1,041	999	822	662
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	3,330	2,578	2,080	1,997	1,643	1,322

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	スーパーL資金の繰上償還件数	目標	件			10	10	10
		実績	件	12	8	12		
		達成率	%		80	120		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	農業経営の安定、新たな経営支援に必要であり、妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	国の補助で当初5年間実質無利子となっている。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	国の補助で当初5年間実質無利子となっている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現在の成果を維持するため。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現在の成果を維持するため			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調査

1. 事業内容

事務事業名		新規就農者等支援事業		グループ・担当名	農政グループ農政担当	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	02 農業の振興			項	01 農業費
	施策(中)	02 担い手の育成確保と生産性の向上			目	04 農業振興費
	施策(小)	08 新規就農者支援の推進			大事業	02 新規就農者等支援事業
事業期間	単年度		平成11年度～			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	美幌町新規就農者等支援事業補助要綱美幌町農業次世代人材投資資金要綱				経費区分	投資的経費
事業概要	農業後継者不足が深刻化し、後継者確保が急務の課題となっている中、経営継承ができる農家子弟と農外からの新規参入者へのスムーズな就農支援を行うことにより、本町農業の持続的発展を図る。					
事業目的	新規就農者や新規農業従事者の定着を促進するため、初期投資費用を軽減することで経営安定を図る					
事業の対象	新規就農者、新規農業従事者					
実施結果	【実施結果】 補助金、資金の交付					
現状と課題	【現状と課題】 新規就農者、新規農業従事者など担い手確保が課題となっている。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	4,913	9,167	13,423	9,002	14,223	10,207
国支出金	0	-	0	0	0	0
道支出金	0	-	2,250	1,500	3,000	2,250
地方債	0	-	0	0	0	0
その他	2,118	-	5,511	3,676	4,516	3,883
一般財源	2,795	9,167	5,662	3,826	6,707	4,074
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	4,913	9,167	13,423	9,002	14,223	10,207

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	新規就農者及び新規農業従事者数	目標	人			4	4	4
		実績	人	4	9	8		
		達成率	%		225	200		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	担い手確保が求められる中、引き続き、支援が必要であり、妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	担い手確保対策として、新規農業者等への支援は、有効である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	検討	担い手確保及び農業経営の安定のため、適切な経費となっている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状の計画で事業を取り進めることが妥当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状の成果を維持するため。					予算反映額 (概算)	0千円
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		休憩施設管理事業		グループ・担当名	農政グループ農政担当	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	03 林業の振興			項	02 林業費
	施策(中)	04 森林の有効活用			目	01 林業総務費
	施策(小)	02 木とふれあう場所の整備			大事業	03 林業施設維持管理事業
事業期間	単年度					
要求区分	新規		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	美幌みどりの村は、自然環境を活用しながら地域住民や都市生活者に体験学習や野外活動の普及を図り、地域住民の余暇の活用と保健休養による健康増進並びに福祉・文化の向上を図る目的で建設され平成元年3月に(財)みどりの村振興公社を設立し管理運営委託を行いH18年度からは、指定管理者として現在まで管理運営を行っています。					
事業目的	自然環境を活用し地域住民や都市生活者に体験学習や野外活動の普及推進を図り都市と農村の交流を深める					
事業の対象	地域住民(町民)及び都市生活者					
実施結果・現状と課題	【実施結果】 ・各施設を利用した四季のイベントの実施。 ・HPに各施設を掲載しPRを図る。 【現状と課題】 地域住民の余暇の活用及び福祉・文化の向上で利用されている。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	331	180	321	321	505	505
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	331	180	321	321	505	505
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	331	180	321	321	505	505

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	休憩施設利用者数	目標	人			1,100	1,100	1,100
		実績	人	799	984	742		
		達成率	%		89.45	67.45		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	地域住民の余暇の活用等であり、妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	安定して利用が図られており有効である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	検討	みどりの村全体で一体管理に努め、適正な経費となっている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 事業内容に変化が見られないため					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 事業内容に変化が見られないため。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	妥当だが、PR不足や新たな使用についての提案が必要だ。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		森林公園管理事業		グループ・担当名	農政グループ農政担当	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	03 林業の振興			項	02 林業費
	施策(中)	04 森林の有効活用			目	01 林業総務費
	施策(小)	02 木とふれあう場所の整備			大事業	03 林業施設維持管理事業
事業期間	単年度					
要求区分	新規		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	美幌みどりの村は、自然環境を活用しながら地域住民や都市生活者に体験学習や野外活動の普及を図り、地域住民の余暇の活用と保健休養による健康増進並びに福祉・文化の向上を図る目的で建設され平成元年3月に(財)みどりの村振興公社を設立し管理運営委託を行いH18年度からは、指定管理者として現在まで管理運営を行っています。					
事業目的	自然環境を活用し地域住民や都市生活者に体験学習や野外活動の普及推進を図り都市と農村の交流を深める					
事業の対象	地域住民(町民)及び都市生活者					
実施結果・現状と課題	【実施結果】 ・各施設を利用した四季のイベントの実施。 ・HPに各施設を掲載しPRを図る <hr/> 【現状と課題】 地域住民の余暇の活用及び福祉・文化の向上で利用されている。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	594	1,708	1,525	1,525	986	986
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	594	1,708	1,525	1,525	986	986
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	594	1,708	1,525	1,525	986	986

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	森林公園利用者数	目標	人		16,000	16,000	16,000	16,000
		実績	人	14,240	15,292	14,069		
		達成率	%		95.58	87.93		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	地域住民の余暇の活用等であり、妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	安定して利用が図られており有効である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	検討	みどりの村全体で一体管理に努め、適正な経費となっている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 事業内容に変化が見られないため					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 事業内容に変化が見られないため。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	妥当であるが、PRや検討が必要だ。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		乳用牛振興推進事業		グループ・担当名	農政グループ農政担当	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	02 農業の振興			項	01 農業費
	施策(中)	05 畜産の振興			目	05 畜産業費
	施策(小)	01 乳用牛の検定の推進と生産振興			大業	01 畜産振興事業
事業期間	単年度		平成2年度～			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	美幌町農林業振興条例、美幌町農林業振興条例施行規則、乳牛検定事業実施要領				経費区分	投資的経費
事業概要	①乳用牛群総合改良事業 乳用牛の資質向上のため、乳用牛群の総合的な検定事業を推進するため乳牛検定組合による検定員及び研修会の運営費の一部を助成する。 ②乳用種性判別凍結精液助成事業 優良雌牛の牛群整備と搾乳牛の安定確保を図るため、乳用種性判別凍結精液の購入価格の一部を補助する。					
事業目的	①検定を促進することにより、町内の乳用牛群の資質を高め収益を向上させる。 ②町内の乳用牛の増頭および収益を向上させる。					
事業の対象	乳用牛飼養農家					
実施結果・現状と課題	【実施結果】 ①検定の促進。 ②優秀な後継牛の確保。 【現状と課題】 優良雌牛の牛群整備、搾乳牛の安定確保が図られている。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	2,888	2,918	1,550	1,550	2,000	2,000
国支出金	0	-	-	-	0	-
道支出金	28	-	-	-	0	-
地方債	0	-	-	-	0	-
その他	0	-	-	-	0	-
一般財源	2,860	2,918	1,550	1,550	2,000	2,000
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	2,888	2,918	1,550	1,550	2,000	2,000

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	経産牛1頭当たりの乳量	目標	kg		8,900	8,900	8,900	8,900
		実績	kg		9,742	9,331		
		達成率	%		109.46	104.84		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	検討	乳用牛の資質向上、乳質向上に繋がっている。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	乳用牛の資質向上、乳質向上に繋がっており、有効である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	検討	関係機関との連携を図ることにより、効率的な運営が図られている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 町全体で性判別凍結精液の利用が拡大していること、平成30年度から大規模酪農法人の転入があるため。					評価結果	
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 町全体で性判別凍結精液の利用が拡大していること、平成30年度から大規模酪農法人の転入があるため。			予算反映額 (概算)	450千円		拡充
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		家畜伝染病防疫事業		グループ・担当名	農政グループ農政担当	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	02 農業の振興			項	01 農業費
	施策(中)	05 畜産の振興			目	05 畜産業費
	施策(小)	04 家畜防疫衛生対策の推進			大事業	02 家畜伝染病防疫事業
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	家畜伝染性疾病の発生を未然に防止するため、自衛防疫組合及びオホーツク農業共済組合等と連帯し、予防接種・各種法定防疫検査等を実施することにより各種法定伝染病の予防対策を事前に講じるとともに自衛防疫組合による組織的かつ計画的な自衛防疫の実施運営を行う。					
事業目的	法定伝染病の発生をなくす					
事業の対象	畜産農家					
実施結果	【実施結果】 予防接種や各種法定防疫検査を実施					
現状と課題	【現状と課題】 予防接種や各種法定防疫検査等を実施					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	521	521	601	546	602	602
国支出金	-	-	0	-	0	0
道支出金	-	-	1	-	1	1
地方債	-	-	0	-	0	0
その他	-	-	0	-	0	0
一般財源	521	521	600	546	601	601
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	521	521	601	546	602	602

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	定期予防接種の実施回数	目標	回			12	12	12
		実績	回	12	12	12		
		達成率	%		100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	町、JAなど関係機関で組織する自衛防疫組合により、組織的に取り組んでいる。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	家畜伝染病発生の未然防止に有効である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	関係機関との連携を図ることにより、効率的な運営が図られている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状のまま、実施することが妥当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状のまま、実施することが妥当である。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		農作物鳥獣被害対策事業		グループ・担当名	農政グループ農政担当	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	02 農業の振興			項	01 農業費
	施策(中)	01 農業生産環境の保全・整備			目	04 農業振興費
	施策(小)	04 農作物への食害防止対策			大事業	05 農作物鳥獣被害対策事業
事業期間	単年度		平成3年度～			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	農作物鳥獣被害対策事業実施要領			経費区分	投資的経費	
事業概要	<p>エゾシカによる農作物被害を防止するために国庫補助等により平成12年度から14年度の3ヵ年で整備したエゾシカ侵入防止柵（延長118.3Km）の設置効果を保持するため、必要な経費を負担するとともに、捕獲を奨励し、エゾシカの個体数の調整を図る。</p> <p>また、平成25年度より美幌町鳥獣被害対策実施隊を組織して、出没するエゾシカの駆除圧に向けた取り組みを行い、農作業被害の減少に努める。</p>					
事業目的	エゾシカ等による農作物被害を減少させる 侵入防止柵の延命					
事業の対象	有害鳥獣（エゾシカ、ヒグマ）エゾシカ侵入防止柵					
実施結果	【実施結果】 実施隊による有害鳥獣の駆除					
現状と課題	【現状と課題】 鳥獣被害対策実施隊による駆除を行って、農作物への被害の減少に努めている。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	5,490	3,161	3,348	3,223	3,326	3,326
国支出金	0	-	0	-	0	-
道支出金	150	-	180	-	180	-
地方債	0	-	0	-	0	-
その他	0	-	0	-	0	-
一般財源	5,340	3,161	3,168	3,223	3,146	3,326
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	5,490	3,161	3,348	3,223	3,326	3,326

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	有害鳥獣捕獲頭数	目標	頭		600	600	600	600
		実績	頭	600	600	600		
		達成率	%		100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律に基づき、町が実施する事業である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	事業計画どおりの駆除が実施されており、有効である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	JAと協力して実施することで適正な経費となっている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状のまま、実施することが妥当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状のまま、実施することが妥当である。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		農業推進事務		グループ・担当名	農政グループ農政担当	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	02 農業の振興			項	01 農業費
	施策(中)	02 担い手の育成確保と生産性の向上			目	04 農業振興費
	施策(小)	05 農業経営に関する支援体制の充実			大事業	01 農業振興事業
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	-
事業概要	<p>農業振興に係る事務事業を円滑に推進するため、必要な経費を計上する。 てん菜作付けについて、近年の低収量・低糖分・重労働が敬遠され、作付面積が減少しています。北海道てん菜振興自治体連絡協議会を通じて、その抜本的な対策を推進する。 また、各協議会等の安定的な運営のため負担金・補助金を交付し、農業者の経営安定や農作業の安全対策を図る。</p>					
事業目的	負担金、補助金の交付					
事業の対象	各協議会					
実施結果	【実施結果】 各協議会の安定的な運営のため負担金・補助金を交付し、農業者の経営安定や農作業の安全対策を図る					
現状と課題	【現状と課題】 各協議会への負担金、補助金を通して、農業推進を図っている。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	2,817	1,315	1,759	1,704	1,679	1,679
国支出金	0	0	0	-	0	-
道支出金	135	17	17	-	0	-
地方債	0	0	0	-	0	-
その他	0	0	0	-	0	-
一般財源	2,682	1,298	1,742	1,704	1,679	1,679
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	2,817	1,315	1,759	1,704	1,679	1,679

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	農作業事故死亡件数ゼロ件	目標	件			0	0	0
		実績	件	0	0	0		
		達成率	%		100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	農業推進が求められる中、今後とも農業推進を図る上で必要である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	農業推進につながるため、有効である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	検討	関係機関が連携を図ることで、適正な経費となっている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状のまま、実施することが妥当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状のまま、実施することが妥当である。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		優良農作物確保等対策事業		グループ・担当名	農政グループ農政担当	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	02 農業の振興			項	01 農業費
	施策(中)	01 農業生産環境の保全・整備			目	04 農業振興費
	施策(小)	01 一般農作物原・採種圃設置の推進			大事業	04 優良農作物確保等対策事
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	<p>農作物の安定生産と品質保持を図るための優良種子確保は重要であることから、原採種圃を設置する生産者に対して、必要経費（農業費・採取等の労賃）の一部を助成する。また、農薬飛散を防止するためのJAびほろの事業に対して、一部を補助する。</p> <p>平成18年に道産カボチャから食品衛生法に定める農薬残留基準値を超える農薬（ヘプタクロル）が検出されたため、安全性を確保するうえで収穫後において出荷前に実施する残留分析に対して支援を行う。（北海道→美幌町→農協費用軽減を図り、経営安定に寄与する</p>					
事業目的						
事業の対象	農業者経営者					
実施結果	【実施結果】 必要経費（農業費、労賃）の一部助成					
現状と課題	【現状と課題】 安全、安心な農作物の安定生産のため、事業を推進している。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	1,250	1,194	1,394	1,226	1,245	1,170
国支出金	0	-	0	-	0	-
道支出金	53	-	75	-	75	-
地方債	0	-	0	-	0	-
その他	0	-	0	-	0	-
一般財源	1,197	1,194	1,319	1,226	1,170	1,170
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	1,250	1,194	1,394	1,226	1,245	1,170

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	原採種圃設置戸数(28戸)	目標	戸		28	28	28	28
		実績	戸	28	27	27		
		達成率	%		96.43	96.43		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	安全、安心な農作物の安定生産が求められており、妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	病害虫の異常発生の予防、優良種子確保が進めるため、有効である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	検討	安全、安心な農作物の安定生産のため、適正な経費の負担となっている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状のまま、実施することが妥当である。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状のまま、実施することが妥当である。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	間接補助から直接補助へ変更のため、農薬（ヘプタクロル）残留分析に対しての支援を廃止する。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		グリーンビレッジ管理運営事業		グループ・担当名	農政グループ農政担当	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	02 農業の振興			項	01 農業費
	施策(中)	03 新たな農業の展開			目	07 みどりの村管理費
	施策(小)	04 親子や子ども等への農業体験の推進			大事業	01 みどりの村維持管理事業
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	美幌みどりの村は、自然環境を活用しながら地域住民や都市生活者に体験学習や野外活動の普及を図り、地域住民の余暇の活用と保健休養による健康増進並び福祉・文化の向上を図る目的で建設され平成元年3月に(財)みどりの村振興公社を設立し管理運営委託を行いH18年度からは、指定管理者として現在まで管理運営を行っています。					
事業目的	自然環境を活用し地域住民や都市生活者に体験学習や野外活動の普及推進を図り都市と農村の交流を深める					
事業の対象	地域住民(町民)及び都市生活者					
実施結果・現状と課題	【実施結果】 ・各施設を利用した四季のイベントの実施 ・HPに宿泊、研修室、農産加工室、及びエコハウス等の施設を掲載しPRを図る 【現状と課題】 地域住民の余暇の活用及び福祉・文化の向上で利用されている。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	1,500	1,500	1,569	1,200	2,839	2,839
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	1,500	1,500	1,569	1,200	2,839	2,839
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	1,500	1,500	1,569	1,200	2,839	2,839

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	グリーンビレッジの利用者数	目標	人		6,500	6,500	6,500	6,500
		実績	人	6,493	5,567	5,552		
		達成率	%		85.65	85.42		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					

項目	評価の視点	評価	理由
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	地域住民の余暇の活用等であり、妥当である。
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	安定して利用が図られており有効である。
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	検討	みどりの村全体で一体管理に努め、適正な経費となっている。

次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止		評価結果
	事業内容に変化がないため			
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減		現状維持
	事業内容に変化がないため		予算反映額 (概算) 0千円	
今後の改善点	平成28年8月に提出された「みどりの村あり方検討委員会」の提言に基づき各種事業や施設整備を行う。			

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		肉用牛振興推進事業		グループ・担当名	農政グループ農政担当	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	02 農業の振興			項	01 農業費
	施策(中)	05 畜産の振興			目	05 畜産業費
	施策(小)	05 肉用牛の生産振興			大業	01 畜産振興事業
事業期間	単年度		平成9年度～			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	美幌町農林業振興条例、美幌町農林業振興、美幌町優良肉用牛導入推進事業補助				経費区分	投資的経費
事業概要	町内肉用牛生産農家は、市場価格の全国的な高騰による販売収入の増加があるものの、飼料や生産資材の高止まりによる支出の増加もあり、厳しい状態が続いている。本町で生産される肉用牛の価格が管内市場平均価格を上回るべく、優秀な繁殖雌牛となる素牛の購入への助成や、和牛生産改良組合が実施する研修会等へ助成を行う。					
事業目的	優良肉用牛を計画的に導入することにより和牛生産経営の安定化が図られ、本町の和牛の資質向上、市場における優位性が確立される。 また、研修会等が開催され情報交換が行われることにより、生産者の飼養管理の向上が図られる。					
事業の対象	町内肉用牛生産農家					
実施結果	【実施結果】 市場から優秀な血統の繁殖雌牛を導入するとともに、飼養する牛の価値向上を図るため研修会を開催する。					
現状と課題	【現状と課題】 市場における一定の評価を得ることができ、引き続き、優秀な繁殖雌牛の牛群整備に向けて、見直しを予定している。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	1,321	1,327	1,527	1,522	1,527	1,527
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	1,321	1,327	1,527	1,522	1,527	1,527
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	1,321	1,327	1,527	1,522	1,527	1,527

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	十勝市場に対する町内黒毛和牛の価格比	目標	%			100	100	100
		実績	%			99.9	100.1	
		達成率	%			99.9	100.1	
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	肉用牛の振興に基づく事業であり、妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	優秀な繁殖雌牛の牛群整備ため、有効である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	事業主体への経費の一部助成に努めており、適正な経費となっている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 相場に合わせた補助事業となるよう見直しを行う。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 経常経費 (予算編成時に再調整)			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	補助金の趣旨が「優秀な繁殖雌牛となる素牛の購入への助成」ということから、相場に合わせた補助事業になるよう見直しを行う。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		畜産振興事務		グループ・担当名	農政グループ農政担当	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	02 農業の振興			項	01 農業費
	施策(中)	05 畜産の振興			目	05 畜産業費
	施策(小)	01 乳用牛の検定の推進と生産振興			大事業	01 畜産振興事業
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	-
事業概要	本町の畜産経営の安定対策の適切な推進と畜産事務全般にわたる業務の円滑化を図る。					
事業目的	畜産経営の安定化を図る。					
事業の対象	畜産農家					
実施結果	【実施結果】 償還が困難となった既存借入金の借換を行う畜産農家に対して、利子の一部を助成する。					
現状と課題	【現状と課題】 畜産経営の安定化対策、事務全般にわたる円滑化を進めている。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	55	57	95	57	92	92
国支出金	-	-	0	0	0	0
道支出金	-	-	28	28	28	28
地方債	-	-	0	0	0	0
その他	-	-	0	0	0	0
一般財源	55	57	67	29	64	64
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	55	57	95	57	92	92

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	特別支援資金の借入農家数の維持減少	目標	戸			1	1	1
		実績	戸	1	1	1		
		達成率	%		100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	畜産振興のため、妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	畜産振興のため、有効である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	畜産振興事務に必要な最小限の経費となっている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 事業内容に変化がないため。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 事業内容に変化がないため。						
		予算反映額 (概算)	0千円			現状維持		
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		てん菜育苗センター助成事業		グループ・担当名	農政グループ農政担当	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	02 農業の振興			項	01 農業費
	施策(中)	01 農業生産環境の保全・整備			目	04 農業振興費
	施策(小)	02 農村地区環境保全対策事業の推進			大事業	01 農業振興事業
事業期間	4年度		平成26年度～平成29年度			
要求区分	休廃止		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	投資的経費
事業概要	てん菜作付の現状維持・増反のため、JAが平成26年度に新設したてん菜共同育苗施設に係る育苗土について、土の確保が困難であるため、豊幌地区の沈砂池(5ヶ所)の浚渫土の運搬を4年間に限り町が行う。					
事業目的	てん菜移植苗をてん菜育苗センターで生産することにより、労働力軽減を図り作付意欲を向上し作付面積を維持拡大する					
事業の対象	てん菜作付農家					
実施結果	【実施結果】 育苗土運搬費用の助成					
現状と課題	【現状と課題】 労働力不足の中、てん菜移植苗の生産を行い、作付面積の維持に努めている。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	2,577	2,178	2,690	2,514	0	0
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	2,577	2,178	2,690	2,514	0	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	2,577	2,178	2,690	2,514	0	0

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	甜菜の作付面積	目標	ha		2,270	2,270		
		実績	ha	2,436	2,433	2,394		
		達成率	%		107.18	105.46		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	労働力不足の中、てん菜移植苗の生産を行い、作付面積の維持のため、妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	労働力不足の中、てん菜移植苗の生産を行い、作付面積の維持のため、有効である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	検討	事業主体への経費の一部助成に努めており、適正な経費となっている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ● 休止・廃止 4年間の助成事業は終了する。						評価結果
	予算	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ● 皆減 4年間の助成事業は終了する。				予算反映額 (概算)	0千円	
今後の改善点	4年間の助成事業は終了する。育苗センターの土の確保は今後とも必要であるため、数年後に浚渫土が不足した際の支援要望がある。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		経営所得安定対策推進事業		グループ・担当名	農政グループ農政担当	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	02 農業の振興			項	01 農業費
	施策(中)	02 担い手の育成確保と生産性の向上			目	04 農業振興費
	施策(小)	05 農業経営に関する支援体制の充実			大事業	01 農業振興事業
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	-
事業概要	経営所得安定対策を円滑に実施するための事務事業に要する経費を美幌町農業再生協議会に対して助成するものです。 (北海道→美幌町→美幌町農業再生協議会) ※間接補助					
事業目的	販売価格が生産費を下回る作物に対して差額を交付することで、農業経営安定と生産力の確保を図り、食料自給率向上と農業の多面的機能を維持する					
事業の対象	認定農業者・販売農家(水田、転作田)					
実施結果	【実施結果】 交付金の交付					
現状と課題	【現状と課題】 農業経営の安定化と食料自給率の向上に繋がっている。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	4,090	2,011	2,100	1,950	2,100	2,100
国支出金	0	-	0	0	0	0
道支出金	4,090	-	2,100	1,950	2,100	2,100
地方債	0	-	0	0	0	0
その他	0	-	0	0	0	0
一般財源	0	2,011	0	0	0	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	4,090	2,011	2,100	1,950	2,100	2,100

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	当年の交付申請率(100%)	目標	%			100	100	100
		実績	%	100	100	100		
		達成率	%		100	100		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	経営所得安定化対策を推進するため、妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	経営所得安定化対策を推進するため、有効である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	検討	JAと協力して実施することで適正な経費となっている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状の成果を維持するため。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状の成果を維持するため。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		農業情報提供事業		グループ・担当名	農政グループ農政担当	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	02 農業の振興			項	01 農業費
	施策(中)	02 担い手の育成確保と生産性の向上			目	04 農業振興費
	施策(小)	04 気象情報提供の推進			大事業	01 農業振興事業
事業期間	単年度		平成13年度～			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	投資的経費
事業概要	本町農業の推進のため、農業配信システム「てん蔵」により気象情報を含めた農業情報をインターネット及び携帯電話で農業者等へ配信する。					
事業目的	農作業の効率化を図ることにより、経営安定に寄与する					
事業の対象	農業者					
実施結果	【実施結果】 インターネット、携帯電話等で農業者へ気象情報を配信する					
現状と課題	【現状と課題】 H29 7月に気象観測機器が1基故障したことや、その他観測機器も老朽化が進んでいるため、更新が必要である。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	4,354	4,354	4,376	4,108	4,544	4,631
国支出金	0	-	0	-	0	0
道支出金	0	-	0	-	0	0
地方債	0	-	0	-	0	0
その他	1,873	-	1,749	-	4,430	2,270
一般財源	2,481	4,354	2,627	4,108	114	2,361
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	4,354	4,354	4,376	4,108	4,544	4,631

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	気象情報の閲覧回数	目標	回		264,000	264,000	264,000	264,000
		実績	回	250,794	232,952	216,207		
		達成率	%		88.24	81.9		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					

項目	評価の視点	評価	理由
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	安定した気象情報が求められており、妥当である。
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	利用が増加しており、農業振興にもつながり、有効である。
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	検討	J Aと協力して実施することで適正な経費となっている。

次年度の取組の方向性・改善内容	事業	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 観測機器は設置から15年以上経過しており、安定的に気象情報を提供するには、6か所に設置している観測機器の更新が必要であるため、新システムにより農業者へ配信を行う。		評価結果
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 経常経費 (修繕費、消耗品費)		
		予算反映額 (概算)	0千円	現状維持

今後の改善点	
--------	--

平成29年度 事務事業評価調査

1. 事業内容

事務事業名		豊栄地区営農用水維持管理事業		グループ・担当名	農政グループ農政担当	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	02 農業の振興			項	01 農業費
	施策(中)	08 環境共生に向けた総合的な取り組み			目	04 農業振興費
	施策(小)	01 営農用水確保のための調査、研究			大事業	01 農業振興事業
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	投資的経費
事業概要	豊栄地区営農用水施設は、施設整備から40年が経過し老朽化が進んでおり、施設更新が必要となっているが、今後も受益戸数の増は見込めないことや、大規模な改修は負担が大きいことから、計画的な修繕により施設延命を図る。					
事業目的	施設の計画的な修繕により施設延命を図る					
事業の対象	豊栄地区営農用水施設					
実施結果	【実施結果】 今後10年間取水水量を確保出来るかを算定するために、河川の流量観測を実施					
現状と課題	【現状と課題】 河川の流量観測、取水量の確保、算定を行った。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	1,598	2,516	2,376	1,890	20,200	0
国支出金	0	-	-	-	0	-
道支出金	0	-	-	-	11,110	-
地方債	0	-	-	-	0	-
その他	280	-	-	-	3,000	-
一般財源	1,318	2,516	2,376	1,890	6,090	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	1,598	2,516	2,376	1,890	20,200	0

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	受益戸数の維持 (28戸)	目標	戸		28	28	28	28
		実績	戸	28	29	29		
		達成率	%		103.57	103.57		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	施設の運営は組合が、大規模修繕は町と役割分担を行っている。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	営農用水の確保は、農業振興に寄与しており、有効である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	検討	組合が運営を行っており、適正な経費となっている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状の成果を維持するため。					評価結果	
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状の水質を維持するには経費負担増は避けられない。			予算反映額 (概算)	0千円		現状維持
今後の改善点	施設整備から40年が経過し老朽化が進んでおり、計画的な修繕及び一部更新が必要となるため、補助事業等を活用した修繕・更新を計画する。平成30年度については、摩耗が激しいろ過材の更新を実施する。							

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		環境保全型農業直接支援対策事業		グループ・担当名	農政グループ農政担当	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	02 農業の振興			項	01 農業費
	施策(中)	01 農業生産環境の保全・整備			目	04 農業振興費
	施策(小)	02 農村地区環境保全対策事業の推進			大事業	07 環境保全型農業直接支援
事業期間	単年度		平成23年度～			
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	・農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律・環境保全型農業直接支払			経費区分	投資的経費	
事業概要	環境温暖化防止や生物多様性保全等に取り組む農業者団体等に対して、追加的なコストを支援することにより農業分野の有する環境保全機能を発展させる。 近年、堆肥等の使用量が著しく低下し土づくりがおろそかになる一方で、化学肥料・農薬への過度の依存による営農環境の悪化が見られるため、環境と調和のとれた持続的な農業生産に取り組む農業者団体等に対して支援する。 <交付額>交付単価4,400～8,000円/10a					
事業目的	環境に優しい農業に取り組む農業者の増加を目指す					
事業の対象	農業者団体等（エコファーマー認定者、有機農業者等で構成される団体）					
実施結果	【実施結果】 環境保全効果の高い営農活動をする農業者団体等への追加的なコストの支援					
現状と課題	【現状と課題】 環境保全型農業推進協議会を通じて、環境と調和のとれた持続的農業生産に努めている					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	6,627	6,385	6,986	5,952	8,678	8,678
国支出金	0	-	0	0	0	0
道支出金	5,075	-	5,270	4,481	6,539	6,539
地方債	0	-	0	0	0	0
その他	0	-	0	0	0	0
一般財源	1,552	6,385	1,716	1,471	2,139	2,139
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	6,627	6,385	6,986	5,952	8,678	8,678

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	地域環境に優しい農業生産取組農業者数	目標	戸		13	13	13	13
		実績	戸	10	12	11		
		達成率	%		92.31	84.62		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	地球温暖化防止等が求められる中、環境対策を推進させる必要があり、妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	環境保全型農業推進協議会への支援等取組は、環境と調和のとれた持続的農業生産に繋がり、有効である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	補助事業も活用し、適正な経費となっている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現状の成果を維持するため。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状の成果を維持するため。						
		予算反映額 (概算)		0千円			現状維持	
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		みどりの村管理運営事業		グループ・担当名	農政グループ農政担当	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	02 農業の振興			項	01 農業費
	施策(中)	03 新たな農業の展開			目	07 みどりの村管理費
	施策(小)	04 親子や子ども等への農業体験の推進			大事業	01 みどりの村維持管理事業
事業期間	単年度					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	美幌みどりの村は、自然環境を活用しながら地域住民や都市生活者に体験学習や野外活動の普及を図り、地域住民の余暇の活用と保健休養による健康増進並びに福祉・文化の向上を図る目的で建設され平成元年3月に(財)みどりの村振興公社を設立し管理運営委託を行いH18年度からは、指定管理者として現在まで管理運営を行っています。					
事業目的	自然環境を活用し地域住民や都市生活者に体験学習や野外活動の普及推進を図り都市と農村の交流を深める					
事業の対象	地域住民(町民)及び都市生活者					
実施結果・現状と課題	【実施結果】 ・各施設を利用した四季のイベントの実施。 ・HPに宿泊、研修室、農畜産加工室、及びエコハウス等の施設を掲載しPRを図る。 【現状と課題】 地域住民の余暇の活用及び福祉・文化の向上で利用されている。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	0	0	0	57,084	27,415	27,415
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	0	0	0	57,084	27,415	27,415
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	0	0	0	57,084	27,415	27,415

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	グリーンビレッジの利用者数	目標	人			6,500	6,500	6,500
		実績	人		5,567	5,552		
		達成率	%			85.42		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	地域住民の余暇の活用等であり、妥当である。					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	普通	安定して利用が図られており有効である。					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	みどりの村全体で一体管理に努め、適正な経費となっている。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 事業内容に変化がないため					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 事業内容に変化がないため						
		予算反映額 (概算)		0千円			現状維持	
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		みらい農業センター農家青年配偶者対策事業		グループ・担当名	農政グループみらい農業センター担	
総合計画		基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり	評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	施策(大)	02 農業の振興		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(中)	02 担い手の育成確保と生産性の向上			項	01 農業費
	施策(小)	01 担い手対策及び花嫁対策の推進			目	04 農業振興費
					大事業	06 みらい農業センター管理
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	女性を対象とした、みらい農業センター実習と農家実習とを自由に組み合わせて選択できる農業体験実習制度により、農業に興味を持つ実習生を積極的に受け入れることで、農業体験を通じて農家青年と交流できる場が自然な形で形成され、農家配偶者対策の成果に繋げる。					
事業目的	農家青年配偶者対策と市民農園開設による農業・農村への理解度向上、農業センターの存在価値向上を図る。					
事業の対象	農業体験実習生及び一般町民					
実施結果・現状と課題	【実施結果】 農家青年配偶者対策として、美幌町農業担い手対策協議会主体による女性実習生の受入や各種交流会を開催し、農業及び農村の理解度向上として、一般町民に向けての市民農園を開設する。 【現状と課題】 農業及び農村の理解度の向上に繋がっている。					
事業進捗度	2 予定通り取り組んでいるが終了していない	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	2,922	6,720	10,802	9,428	6,649	6,663
国支出金	0	0	0	-	0	0
道支出金	0	0	0	-	0	0
地方債	0	0	0	-	0	0
その他	11	1,187	1,277	-	1,282	1,115
一般財源	2,911	5,533	9,525	9,428	5,367	5,548
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	2,922	6,720	10,802	9,428	6,649	6,663

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	体験実習生の受入数	目標	人			4	4	4
		実績	人	4	4	3		
		達成率	%		100	75		
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	農家青年配偶者対策はJAとの連携によって事業が継続化されており、事業継続化による成果も得られている。市民農園は一般農業					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	女性農業体験実習生の受入によって農家青年との交流機会が安定的に設定されている。市民農園の利用者数が安定しており、農業					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	実習生と農家青年との成婚実績はH16年からの14年間で7組に達しており、成婚実績は道内随一であることから効率的である。市					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 農家青年配偶者対策については地域巡回や面談を通じて結婚相談員や地域との連携を更に密にして関係者一体となった取り組み体制の強化を図る。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状の成果を維持するため。			予算反映額 (概算)	0千円		
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		みらい農業センター農業振興事業		グループ・担当名	農政グループみらい農業センター担	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	02 農業の振興			項	01 農業費
	施策(中)	03 新たな農業の展開			目	04 農業振興費
	施策(小)	01 みらい農業センターによる新規農作物の実証試験			大事業	06 みらい農業センター管理
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	独自性があり、高い有益性が期待できる新規作物や新たな栽培技術を積極的に地域へ提案、普及推進をするために占有農場を活用し、新規作物や新栽培技術の研究・調査を実施することで、本町の基幹産業である農業の更なる発展と新たな展開を図る。また、日本初の11月初旬出荷に成功した「伏せ込みアスパラガス栽培」の早期出荷と高収量性の両立化の実現化に向けて、生産技術指導に積極的に関与する。					
事業目的	地域農業収益の向上と差別化された個性ある特産品の誕生をめざす。					
事業の対象	新規就農者・一般農業者（後継者含）					
実施結果・現状と課題	【実施結果】 JA美幌、農業改良普及センター美幌支所、日甜美幌などとの連携により地域基幹作物の新品種、新技術の栽培試験を実施するほか、日本初の11月初旬出荷に成功した伏せ込みアスパラガス栽培の更なる高収益化をめざした独自の栽培 【現状と課題】 地域基幹作物の新品種・新技術の栽培試験の実施に努めている。					
事業進捗度	2 予定通り取り組んでいるが終了していない	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	23,755	10,498	10,473	10,055	11,568	11,799
国支出金	0	0	0	-	0	0
道支出金	0	0	0	-	0	0
地方債	0	0	0	-	0	0
その他	9,618	14,293	7,980	-	8,735	8,909
一般財源	14,137	△3,795	2,493	10,055	2,833	2,890
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	23,755	10,498	10,473	10,055	11,568	11,799

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	試験展示圃における栽培試験数	目標	件		14	14	14	14
		実績	件	14	14	14		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点	評価	理由					
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。	妥当	地域特性に合った新規作物や新技術の研究調査は地域事情に精通する地域農業センター					
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。	高い	新規作物や新技術の調査研究は農業者への情報提供、提案を実施していくという共通					
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。	高い	新規作物や新技術の調査研究は、最小限の費用で最大の効果をあげており、効率性は極めて高い。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ○ 現状維持 ● 縮小 ○ 休止・廃止 新規作物や新技術の調査研究結果は単発的な発信で効果が得られるものではないことから、継続的な検証と更なる進化を追求した試験栽培に取り組む。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状の成果を維持するため。			予算反映額 (概算)	0千円		
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		みらい農業センター農業経営者育成事業		グループ・担当名	農政グループみらい農業センター担	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	02 農業の振興			項	01 農業費
	施策(中)	02 担い手の育成確保と生産性の向上			目	04 農業振興費
	施策(小)	08 新規就農者支援の推進			大事業	06 みらい農業センター管理
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等					経費区分	政策的経費
事業概要	本町の基幹産業である農業生産基盤の維持、発展を持続化させるため、新規就農者及び農業後継者の人材育成が必要不可欠であることから、新規就農予定者研修計画に沿った実践研修を占有圃場にて実施するとともに、各種作物の青空講習会や冬期農業講座の開催を通して、更なる技術や知識の習得、経営能力の向上を全面的にサポートする。					
事業目的	本町農業の後継者不足による農家戸数減少対策と優れた担い手の育成。					
事業の対象	新規就農者・農業後継者（一般農業者含）					
実施結果	【実施結果】 各関係機関と連携を図り、占有圃場を活用した各種作物の青空講習会や冬期農業講座を開催。					
現状と課題	【現状と課題】 講習会・農業講座の開催に努めている。					
事業進捗度	2 予定通り取り組んでいるが終了していない	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	0	5,536	5,081	5,021	295	300
国支出金	-	0	0	-	0	0
道支出金	-	0	0	-	0	0
地方債	-	0	0	-	0	0
その他	-	1,000	1,000	-	295	300
一般財源	0	4,536	4,081	5,021	0	0
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計 (事業費+人件費) (千円)	0	5,536	5,081	5,021	295	300

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	冬期農業講座	目標	回		2	10	10	10
		実績	回			10		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点		評価	理由				
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。		妥当	新規就農研修生や新規農業従事者のような知識と経験の浅い農業者を対象とした研修会等は開催されていない現状の中で町独自で受講者の受講率が高いことから受講対象者及び講義テーマの設定などが的確であると判断する。				
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。		高い	各種講座の講師報償費は講師の厚意により無償のケースが多く最小費用で各種講座が開催されていることから効率性は高い。				
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。		高い					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 開催する冬期農業講座の中には独自性が高くテーマとして優れた講義も設定されていることから一般農業者の参集を更に促進し、講座の価値を高めながら地域全体における農業技術のレベルアップに繋げたい。					評価結果	
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状の成果を維持するため。			予算反映額 (概算)	0千円		
今後の改善点								

平成29年度 事務事業評価調書

1. 事業内容

事務事業名		みらい農業センター推進事業		グループ・担当名	農政グループみらい農業センター担	
				評価者名	経済部長 矢萩 浩	
総合計画	基本目標	03 まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり		予算科目	款	06 農林水産業費
	施策(大)	02 農業の振興			項	01 農業費
	施策(中)	02 担い手の育成確保と生産性の向上			目	04 農業振興費
	施策(小)	08 新規就農者支援の推進			大事業	06 みらい農業センター管理
事業期間	終期未定					
要求区分	継続		マニフェスト	-		
根拠法令等	美幌町補助金等交付規則美幌みらい農業センター新規就農予定者研修実施要綱・			経費区分	投資的経費	
事業概要	美幌町で新たに農業を営もうとする意欲ある新規就農予定者の円滑な就農促進を図るため、美幌みらい農業センターにおいて、基礎から実践技術にいたる広範な技術、知識等を、習得させるために必要な農業研修に対し支援することを目的とする。					
事業目的	将来、地域農業の核となる新規就農者を育成し、農業基盤の強化を図る。					
事業の対象	美幌みらい農業センター新規就農予定者農業研修実施要綱に基づき、町長から研修許可を受けた、新規就農予定者。					
実施結果・現状と課題	【実施結果】 平成24年より、離農予定者より栽培及び経営技術を経営資産として一括継承する「経営継承方式」での新規就農予定者を受け入れし、平成27年4月に無事就農し、農業後継者問題の有効な対策として成果を上げたため、今後も継続す 【現状と課題】 現在、経営継承による新規就農案件が1件存在することから平成31年度の新規就農研修生を募集中である。					
事業進捗度	1 達成できた	進捗度3又は4の理由	-	左の具体的な内容		

2. 年度別事業費

(単位：千円)

	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算	平成29年度決算	平成30年度予算	平成31年度予算
事業費 (千円)	0	0	0	2,200	0	480
国支出金	-	-	-	-	0	-
道支出金	-	-	-	-	0	-
地方債	-	-	-	-	0	-
その他	-	-	-	-	0	-
一般財源	0	0	0	2,200	0	480
人件費 (千円)	0	0	0	0	0	0
(1人当たり給与費 千円) (人工)	0	0	0	0	0	0
計(事業費+人件費) (千円)	0	0	0	2,200	0	480

(見込値)

3. 評価

指標名			単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
指標1	新規就農予定者	目標	年目			3	0	1
		実績	年目			3		
		達成率	%					
指標2		目標						
		実績						
		達成率	%					
指標3		目標						
		実績						
		達成率	%					
項目	評価の視点		評価	理由				
妥当性	目的や現状及び課題から、町で、今やるべきかどうかを評価する。		妥当	新規就農者の育成には農業研修のほか、経営継承先や地域との就農に関わる各種調整、資金計画など、総合的に育成する必要がある				
有効性	目標達成度から、手段や対象等が適切かどうかを評価する。		高い	近年の就農形態は経営継承方式による新規就農に取り組んでおり、新規就農者及び離農者双方にメリットがあることから新規就農				
効率性	費用と成果のバランスはとれているか、現行の経費は適正かを評価する。		高い	新規就農者の育成には一定の費用負担は発生するものの新規参入者による就農によって農地の流動化が促進し、農村地域の人口維				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 休止・廃止 現在、募集する経営継承による新規就農案件は合同会社化された町内野菜出荷グループへの加入ありきの形で研修が行われることから、農業センターでの基礎的研修と野菜出荷グループメンバー宅での実践的研修をバランスの取れた研修計画を作成したい。					評価結果	
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ 皆減 現状の成果を維持するため。			予算反映額 (概算)	0千円		拡充
今後の改善点								